

2022年度事業計画書（概要）

作成部署名： _____ 短期大学

重点項目 (最低3つ最大5つ)	1.	戦略的學生募集活動の充実
	2.	教育の質の向上を目指した取組の継続
	3.	学修・生活環境の整備
	4.	地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実
	5.	地域課題解決に向けた取組

重点項目1.	
事業の種類①	既存事業の継続・改善
事業の種類②	中期計画の実現
重点項目名	戦略的學生募集活動の充実
実施目的と期待される効果	(目的) 社会の動向・大学に求められるニーズを踏まえ、戦略的に學生募集活動を展開する。 (期待される効果) 専門職への関心が高い學生が本学に入学する。
実施内容 (詳細)	① アカデミック・インターンシップなど高大連携事業をさらに拡大する ② 中学生への戦略的広報活動を継続的に展開する ③ 入試推進員と連携し、進学相談会・高校訪問を継続強化充実する ④ 社会人に向けた広報活動を継続する ⑤ 県外からの志願者を想定し、學生募集の方法の見直し・改善を行う ⑥ より多様な志願者を想定し、選抜方法のさらなる見直し・改善を行う
重点項目2.	
事業の種類①	既存事業の継続・改善
事業の種類②	中期計画の実現
重点項目名	教育の質の向上を目指した取組の継続
実施目的と期待される効果	(目的) 魅力ある授業の展開、學生の主体的な学びの促進、教育環境の充実等により、教育の質の向上を図る。 (期待される効果) 教育の質が向上し、學生の主体的な学びが促進される。
実施内容	① 卒業時の質保証の取組の強化 (PROPERTIES) を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、アクティブ・ラーニングの充実を図る ④ FD 活動を通して授業方法の改善を継続するとともに、成績評価基準の点検・改善を行う ⑤ コンピューター実習室等の改善を行い、アクティブ・ラーニングを前提としたICT 環境を整備するとともに、學生自身が主体的に学修成果を振り返ることを目指して、教務システムと連動したLMSへの移行準備を始める。

重点項目3.	
事業の種類①	既存事業の継続・改善
事業の種類②	中期計画の実現
重点項目名	学修・生活環境の整備
実施目的と期待される効果	(目的) 学修・生活環境を整備するとともに、学生の心身の健康・安心安全・多様性等に配慮した学生支援の充実を図る。 (期待される効果) 学生が安心して心地よく学修を行うことが出来る。
実施内容	① 入学時スクリーニング調査 (UPI) の活用の体制を継続展開する ② 全学一斉 (食物栄養科・保育科・専攻科保育専攻) の防災訓練を継続実施するとともに、防犯やハラスメント予防・ケアに係る危機管理体制の見直し・改善を図る ③ ポラーノ学生、障がいのある学生、LGBTの学生、外国人留学生など、多様な学生の支援体制の見直し・改善を図る ④ 「高等教育の修学支援制度」「ポラーノ」「専攻科特待生制度」等の修学支援制度の活用を継続する ⑤ SA 制度を広げ、ノートテイキング等、障がい学生の支援に対応するピア・サポート制度を確立し、学友会を中心とした課外活動の振興を継続的に図る ⑥ 学生にとって心地よい学修・生活環境の整備に向け21号館等の改修を継続するとともに、キャンパス環境の見直しを行い、より安全で安心な生活環境を整備する
重点項目4.	
事業の種類①	既存事業の継続・改善
事業の種類②	中期計画の実現
重点項目名	地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実
実施目的と期待される効果	(目的) 学生の自己実現を目指し、地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実を図る。 (期待される効果) 学生の自己実現につながる就職支援がなされる。
実施内容	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動において連携可能な体制を整備する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援を継続推進する
重点項目5.	
事業の種類①	既存事業の継続・改善
事業の種類②	中期計画の実現
重点項目名	地域課題解決に向けた取組
実施目的と期待される効果	(目的) 専門職養成機関として、地域課題解決に向けた各種事業の推進を図る。 (期待される効果) 本学教員が地域ニーズを理解し地域に貢献することが増え、学生にとっても真に社会に貢献する専門職となっていくための教育活動の機会が増える。
実施内容	① 地域と連携した教育・研究の取組みを推進する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業の検討・実施を行う ③ ホームカミングデイ事業を展開し卒業生の学び直しの機会とするとともに、さらなる専門職の学び直しの機会として研修会を企画実施する ④ 地域住民に向けた学びの機会となる公開講座等のさらなる拡充を図る ⑤ 地域連携研究センターの ICT 環境を整備するとともに、地域に向けた情報発信のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に図る